

市町村名 北大東村

平成28年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8	定住受入基盤整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
				III-9

事業内容 島外や県外からの移住を促進する為、集合住宅(6世帯)を建設し、定住者の受入基盤を整備する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度	31年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	7,000	-		
		(b) 予算現額	116,000	-		
		(c) 増減額(b-a)	109,000	-		
		(d) 繰越額	-	66,016		
		A. 計(b+d)	116,000	66,016		
		B. 執行済額	49,984	65,556		
		うち交付金充当額	39,986	52,445		
		次年度繰越額	66,016	-		
		執行率(%) (B/A)	43.1%	99.3%		
		予算の状況の説明	ボーリング調査結果により支持地盤があることから、ベタ基礎で発注を行ったが、掘削を行ったところ一部分において軟弱箇所があり、基礎工法の再検討を行うこととなり検討に不測の日数を要した為、66,016千円を平成29年度へ繰越した。			

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度
		定住住宅の整備(6世帯):設計の実施	目標 (設計の実施)	()	()	()
	実績	実施				
定住住宅の整備(6世帯):工事の実施	目標 (工事の実施)	()	()	()	()	
	実績	実施				
達成状況説明	島外・県外からの移住を促進する為、多用途集合住宅を6世帯建設した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	31年度		
			定住住宅(6世帯)の設計完了	目標 () (設計の完了)	()	()	()	
				実績	完了			
			定住住宅(6世帯)の工事完了	目標 () (工事の完了)	()	()	()	
	実績	完了						
	目標							

進捗状況説明 多目的集合住宅整備の実施により、島の産業振興・教育環境等を支える若年層や観光・農・漁業の専門家・教育部門等の受入基盤の整備が図られており、6世帯入居しており満室となっている。

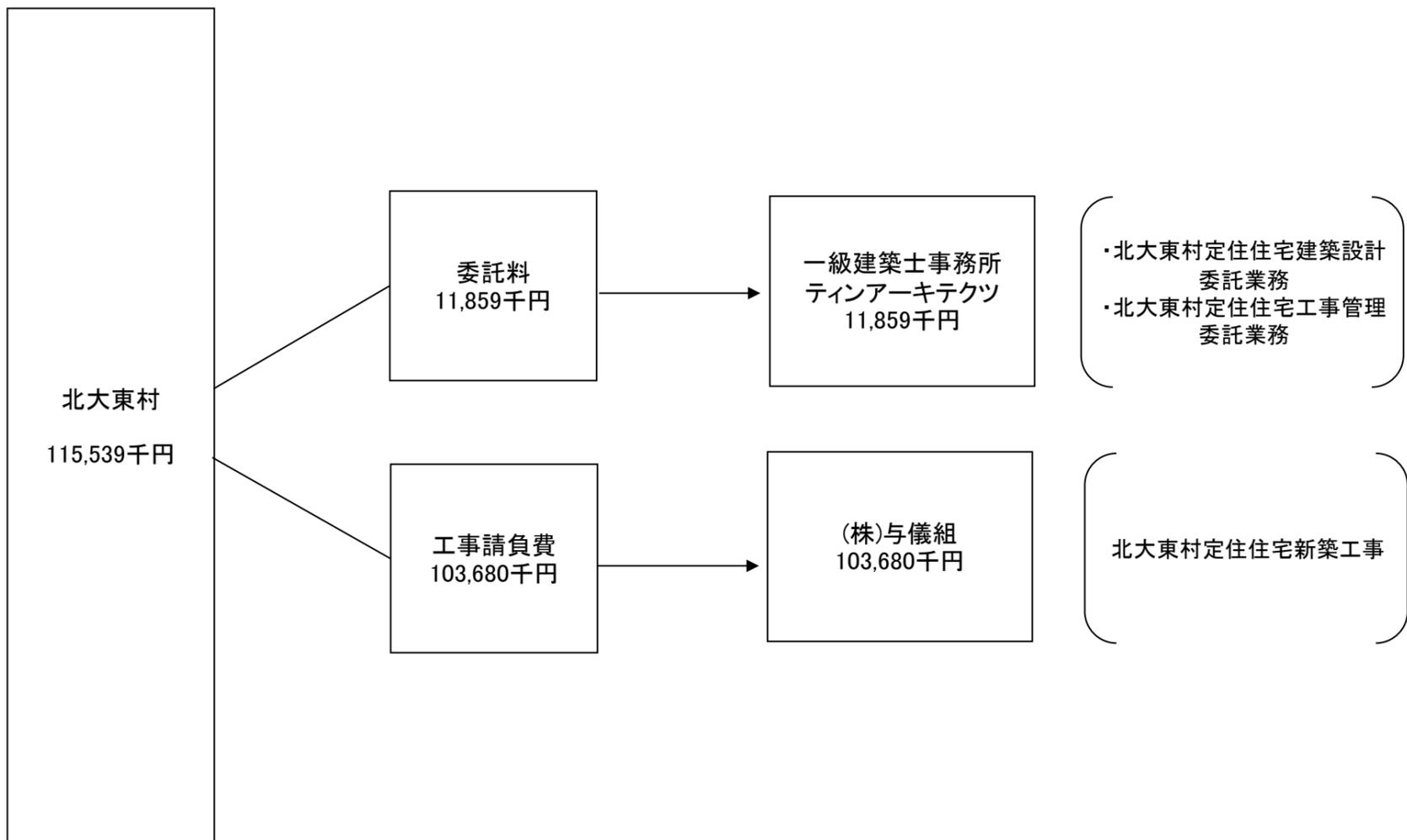
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>多用途集合住宅を整備していく中で、入居者選定の基準が課題となった。(島外・県外) 公共施設に従事する農業や観光、教育等従事者を優先するよう基準を設け、島の産業高度化へ繋がるよう、入居対象者選定の要望があった。</p>	<p>公共施設に従事する農業や観光、教育等従事者を優先するよう基準を設け、島の産業高度化へ繋がるよう、入居対象者選定を行っていく。</p>

今後の取り組み方針

公共施設に従事する農業や観光、教育等従事者を優先するよう基準を設け、部屋に空きが出た際には島の産業高度化へ繋がるよう、入居対象者選定を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
115,539	115,539	92,431	23,108	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者、委託業者は指名入札方式により適正に選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業趣旨から適正な予算規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	